

## 私のすすめるこの1冊

吉田 竹史（附属高等学校 教諭）

### 『風をつかまえた少年』

ウィリアム・カムクワンバ、ブライアン・ミーラー（著）

2001年、世界最貧国の1つであるアフリカのマラウイが干ばつに襲われました。

当時14歳のウィリアム・カムクワンバ少年は、農業で生計を立てている一家の収入が途絶えたため、学費が払えず、退学をせざるを得なくなります。

飢饉の脅威が迫る中、何とかして水を得る方法はないか…と考えたウィリアムは、図書館で出会った1冊の本を頼りに独学で風力発電の仕組みを学び、風車作りに着手したのです。当時のマラウイは農村部への電力供給が4%に留まり、電化の普及率が著しく遅れた国です。

材料に使ったのは自転車の部品や車のバッテリー、プラスチックの板など…。そのほとんどがごみ捨て場から拾ってきた廃材でした。

着手から数年後、森で伐採したユーカリの木を10数メートルの高さに組み上げた風車で電気を起こし、ポンプで地下水をくみ上げることに成功します。

私がこの「本」を通じて、印象に残った彼らの言動は、次の3点です。

- ① 学校を退学になった後でも、協力してくれた先生の存在（P213・1行目～）  
先生「あなた、同級生よりずっとむずかしい勉強してるのね。学校でもまだ習ってないんじゃないかしら」  
ウィリアム「そうですけど、ぼくはこれが知りたいんです」  
先生「じゃあ、がんばって。もっと調べたいことがあったら、またいらっしやい」
- ② 廃品置き場でごみを漁るの噂話を聞いた母親がウィリアムに問う場面（P247・10行目～）  
母親「あなた、どうしちゃったの？ あなたの友達はこんなことはしてないでしょ？ ギルバートの家に行っても、こんなものは置いてないはずよ。なのにこの部屋はなんなの？ どう見ても頭のおかしな人間の部屋よ。ごみを

集めるなんて、普通の人間のすることじゃない」

- ③ ウィリアムが風車作りの材料として、父親の自転車が欲しいと懇願する場面（P243・8行目～）

ウィリアム「ぼくにはちゃんとした計画がある。好きなようにさせてよ。考えてみて。電気が使えるんだよ！水もポンプで汲み上げられるようになって、もう一回収穫が迎えられるんだよ。そうしたら、もう二度と飢えに苦しまなくてもすむようになる」

父親「わかった。たぶんおまえは正しいことを言っているんだろう。だけど、壊さないようにしてくれよ」

ウィリアムは、直向きに学ぶ気持ちと行動力を持った少年です。家族にとっても大事な存在だったジョン伯父さんを病気で亡くし、政権交代でますます農業が過酷な条件下におかれる中、父親がひとりで仕事を切り盛りしなければならなくなった苦悩や焦りを知ります。時には周りの村人と同じように飢えに苦しみ、暴動に怯え、無力に立ちすくむ場面が描かれています。友人と談笑したり、無邪気に愛犬と戯れたりもします。そして、協力してくれた先生の存在もある。

この本では、普通の少年としてのウィリアムの日常が丹念に描かれています。

だからこそ、彼が周囲を巻き込んで未来を変えていく…そのような姿に感動と魅力を感じるのだと考えます。

2019年には奇跡の実話として映画化され、32歳になったウィリアム氏が来日した際、その取材の中で「人生に壁や挑戦は付き物です。ですから、たとえ困難に見舞われても、それが自分の進むべき道を阻むものとは思わないでください。自分が成長するためにより深く考えるきっかけを与えてくれ、本当にやりたいことが明確になる機会だと受け止めて欲しいのです。もし本当にやりたいことがあるならば、全てが可能になると私は考えます」と語りました。

自分が本当にやりたいと思うことが何なのか、50代に入ろうとする私自身が、直向きに学ぶ気持ちと行動力を持ち、進むべき道を探ろうと思わせてくれる本でした。

機会があれば、皆さんも読んでみてください。



## 「2024 前期ブックハンティング」選出本を展示しています!

6/26(水)、京都丸善本店にて前期ブックハンティング(選書ツアー)が開催されました。

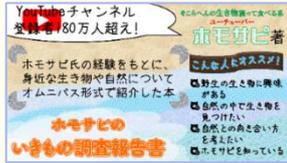
参加は3名と小人数でしたが、バラエティー豊かな本が選ばれています。選んだ学生本人の推薦文などとともに、8/1(木)~10/1(火)まで、1階渡り廊下新着図書の隣で展示中です。どなたでも自由に借りられますので、是非ご利用ください!



『はじまりは愛着から』  
佐々木正美 著



<推薦文>  
親として子育てをする上での心得を、ていねいな優しい語り口で教えてくれる本です。自身の育ちを見直すきっかけにもなり、今の自分の人格がどのように形成されたかを振り返ることができました。教員として子どもたちと接する上でも非常に参考になる内容だと思います。子どもを育てることに関わる人にとって、必読の一冊です!!



『冒険が知識に変わる  
ホモサピのいきもの調査報告書』  
ホモサピ 著



『ストロガッツ 非線形ダイナミクスとカオス』  
Steven H. Strogatz, 著  
田中久陽他 訳



## 開館時間に関するアンケートご協力をお願い

附属図書館では、2024年4月から試験的に開館時間を短縮いたしました。これについて利用者アンケートを行いますので、ぜひ忌憚のないご意見をお寄せください。

【回答期間】令和6年7月25日(木)~10月4日(金)

【回答方法】アンケート用紙(館内で配布)を提出または Web フォーム

Web フォーム QR コード→



## 「おすすめ電子BOOK」のポスターを掲示しています

おすすめの電子書籍のポスターを1階渡り廊下で展示しています。各ポスターの下側にある QR コードは切り離し可能ですので、読みたい本興味がある本があれば 切り取ってお持ち帰りください。

なお、学外から電子書籍を利用する際は「学認でサインイン」を選択し、学内アカウントの ID・パスワードを入力してください。



## 夏季休暇に伴う長期貸出について

学部生:7月24日(水)~9月20日(金)

院生・教職員:7月10日(水)~9月9日(月)

【返却期限日】10月8日(火)※卒業・修了予定者は9月10日(火)まで



9月中旬頃から「新着電子BOOK」の展示に変わるかも...? お楽しみに!



★ 9月卒業・修了生の  
貸出期限の延長について

2024年9月末で本学を修了する予定の方(科目等履修生・研究生・特別聴講生を含む)は、貸出期限、および返却期限日が9月10日(火)になっています。資料を借りている方は、忘れずに返却してください。

ただし、9月11日(水)以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きで、9月30日(月)まで貸出延長できます。カウンターでお尋ねください。

図書館への入館・閲覧については手続き不要で、9月30日(月)まで利用可能です。

メッセージボードを設置しています!

イベントのお知らせやメッセージなど、つぶやいています。



≡ 製本作業による  
雑誌の利用制限について

南館1階にある雑誌のうち2023年の発行分を中心に、一部が製本作業のため、9月上旬頃まで、利用できなくなります。製本後はすべて西館3階電動集密書架に配架しますので、そちらをご利用ください。

※詳細についてはカウンターにお尋ねください。

★ 日本教育新聞電子版の閲覧ができます

日本教育新聞「記事検索データベース」サービス終了に伴い、電子版に変更しました。

毎日更新されるニュースや、日本教育新聞に掲載された過去20年分の記事を閲覧することができます。

※利用方法は図書館HPをご確認ください。

🍇 企画展示室(北館1階)

JICA 海外協力隊活動報告「子どもの生活写真展」

【会期】8月22日(木)~9月19日(木)



写真の展示、中東地域や難民についての図書も展示しています。ぜひご覧下さい。



🍃 学修相談カウンター



レポートや卒論、教育実習、就活などさまざまな相談を受け付けています。

【場所】北館2階ラーニング・コモンズ

Webフォームもあります。

夏休み中は、相談カウンターはお休みです。10月から再開予定です。よろしくお願いいたします。



Web相談フォーム

🍃 児童書コーナー(南館1階)

幼児教育科主催  
えほんのもい

今月の絵本カード(学生作)  
『もりいちばんのおともだち』  
作:ふくざわ ゆみこ  
出版社:福音館書店



※児童書コーナーに  
かわいいカードが  
飾られていますの  
で、ぜひ見に来て  
ください。



≡ 教育資料館 まなびの森ミュージアム

【9月の開館日時】

2日(月)、9日(月)、23日(月・祝)、30日(月) 14:00~17:00



今月の逸品(7~9月)

『タイガー手動式計算機  
(PHY046)』

製造:タイガー計算機株式会社

展示場所:附属図書館

教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **榎原 禎宏** (教育学科 教授)

### 「自律的な学校」を担う校長像とコンピテンシー —ドイツの事例州における校長の任用の枠組み—

榎原 禎宏

京都教育大学紀要 2024, No.144, pp. 55-67  
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9866>



教育問題の多くは学校教育として取り上げられます。日く、いじめをなくさなければいけない、自己肯定感を高めることが大切と。これらを「チーム学校」で進めることが期待されるのです。そこで問われるのが、組織としての学校を牽引する校長のありようです。まさに「校長が変わると学校が変わる」ですね。とは言え、ではどのような人が校長にふさわしいのか、またそうした人物を得るための選考や任用がどうあればよいのかが明確なわけでは必ずしもありません。「校長の専門職基準」(日本教育経営学会)の提案も 10 年以上前になされていますが、その具体化は未だ図られていないのが日本の現状です。

そこで本論文は、ドイツでの校長に注目し、先行研究が法的な考察に留まっていることを踏まえて、校長として選ばれるための教育行政上の枠組みがどのようなものであるかを、事例の州に即して記述することを課題にしました。この結果、①職務領域、活動内容とコンピテンシーの3つからなる「プロフィール」として校長像が示されていること、②社会的コンピテンシーではコンフリクト(葛藤)やダイバーシティ(多様性)に関わる能力、人格的コンピテンシーでは自己調整力や曖昧さに対する能力が注目されること、③求められる校長像は学校によって異なり、プロフィールのすべてに優れている必要はないこと、④選考の過程では、授業分析、学校分析、メディアを用いたプレゼンテーション、困難なケースへの対応という4つのモジュールで校長候補者に問われるとともに、公募された学校の学校会議と学校設置者の意向が尊重されること、を明らかにしています。

学生のみなさんはいま、教諭の第一の業務である授業や児童生徒との関わりに強い関心を持っていることでしょう。その上で、学校での活動は組織的でもあり、校長ほかさまざまな立場の人たちが多様な役割を果たしていることも学びながら、いっそう学修に励んでほしいと思います。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 144号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

### 開館日程

□9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2024年9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

9/4 館内整理日

2024年10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

10/1 後期授業開始

10/19 大学院入試(学外者利用不可)

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

(QRコード→)



京教図書館 News No.288 (2024年9月号)

発行日:2024年9月2日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: [library@kyokyo-u.ac.jp](mailto:library@kyokyo-u.ac.jp)



国立大学法人  
**京都教育大学**  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION